

☆☆矢野目小学校教育目標☆☆互いを大切に、笑顔で協働する子どもも☆☆自ら学び、深く考えて行動する子ども☆☆心と体を鍛え、命を大切にする子ども

令和6年度矢野目小学校 学校だより

みんなの広場 2

笑顔があふれ、明日もまた来なくなる学校

2024.6.25 発行 No.40 文責 目黒 満

月曜の朝、登校時刻が変わった状況を巡回してみました。特に違和感はなかったのですが、以前よりも多くの班がまとまって、集中した時間帯に登校してきていました。より多くの班が連なって、大きな集団になることで、ドライバーは、より一層徐行して走る傾向が強まり、安全性がUPするように感じました。班がいくつか連なっても一列で、安全な歩行を！



家庭と学校ががっちり手を繋ぐ2年目に

今週は、中学生ドリームアップ体験活動の5日間です

昨日から今週の5日間、北信中の2年生7名が、毎日本校に来て、実際に学校という「社会」の一員として、学校職員と一緒に「働く」体験をしています。7人の中学生は、それぞれ1人ずつ、自分の希望した学年や学級で、それぞれの担任の先生の指導のもと、連携・協力しながら、先生という立場で、疑似的・補助的に働いています。

ここで大切なのは「一人で」という環境です。実際に教育に携わっている先生と同じような立場で、「一人」で子どもたちと向き合うことで、その場その場で自分がどう行動すればいいのかを自分の頭で考え、判断し、言葉や行動で表現するという自主性が自ずと育っていきます。真剣に取り組む5日間の体験を通して、学校での学習だけでは身につけることが難しい社会性や、実際に役立つ思考力、状況を踏まえた判断力、そして親以外の大人とのコミュニケーションを通して表現力を大きく伸ばしてくれるものと期待しています。



数年後、わが子も同様の活動を経験することになると思います。数年先の話(上のお子さんが今、中二ならまさに今)ですが、そのときには、毎日、たくさん話ができる親子の関係性があるといいですね。

がんばって活動してもうまくいかない悩みの相談や、初めての経験での失敗談、体験先の仕事の素晴らしさといった話題が共有できるよう、今から日常的に、お子さんの話に傾聴する時間をしっかりと取って、何でも話せる関係を作っていきます。

演劇鑑賞教室を行いました

今日の午前中は下学年、午後は上学年の2回公演で、劇団「風の子」による演劇鑑賞教室を本校体育館で行いました。ここ数年のコロナ禍の影響もあり、生の演劇を鑑賞する機会はなかったため、初めての鑑賞となり、舞台と一体となって鑑賞を楽しむというところまでは難しかったところもあったかもしれません。



でも、近距離で、俳優さんたちの生の演技を見て、表現力の豊かさは十分に伝わったものと思います。

ぜひ感想を聞いてみて下さい。

